

事業の具体的な実施計画について（子どもたちを川へ呼び戻す）

テーマ	子どもたちを川へ呼び戻す	目的	仁淀川にふれ合う行事を充実させるとともに広報活動を実施することによって、親子で参加できる行事へ数多くの参加を促す。
取組項目	親子で川にふれ合う行事の充実・広報		

取組内容	これまでの実績 (2015(H27)～2018(H30))	計画スケジュール					目標 (2024(R6))
		2020(R2)年	2021(R3)年	2022(R4)年	2023(R5)年	2024(R6)年	
1 川にふれ合う行事の充実・広報 仁淀川にふれ合う行事を実施するとともに、参加しやすくなるよう情報発信を行う。 また、媒体の活用方法について整理し、流域で川にふれ合う行事を行っている団体等へ提供することによって情報発信しやすくなるよう支援する。	親子体験教室※: 7回 Facebook等での情報発信	計画 媒体活用方法の整理 					親子体験教室: 10回 Facebook等での情報発信
		実績 親子体験教室: 0回 媒体活用方法の提供の実施					
2 「仁淀川学習」プログラムの開発及び実施 水生物や水文化、ごみ問題など、さまざまな分野に関するプログラムを新たに作成し実施することによって、仁淀川について学べる機会づくりにつなげる。	新規	計画 検討及び実施 (2回)	検討及び実施 (2回)	検討及び実施 (2回)	検討及び実施 (2回)	検討及び実施 (2回)	プログラム数: 10個 実施回数: 10回
		実績 プログラム数: 2個 実施: 2回					

1 川にふれ合う行事の充実・広報

- ・仁淀川親子ふれあい交流体験「子どもたちと川へ！親子で遊ぶ仁淀川」
 ※仁淀川漁業協同組合並びに仁淀川清流保全推進協議会との協働での実施
- ・仁淀川親子体験教室（主催：高知県立高知青少年の家）：9月開催予定

2 「仁淀川学習」プログラムの開発及び実施

- ・水文化（川と人、社会、文化の関わり講座） 、水質保全

テーマ	子どもたちを川へ呼び戻す	目的	川の特性を理解し、川での活動における危機管理能力を身につけた人材の育成及び育成した人材の指導による子どもを対象とした安全教室、環境学習等が実施できる体制を整える。また、危険箇所マップ等の情報発信により、川での事故防止につなげる。
取組項目	安全・安心で楽しい水辺活動の推進		

取組内容	これまでの実績 (2015(H27)～2018(H30))	計画スケジュール					目標 (2024(R6))
		2020(R2)年	2021(R3)年	2022(R4)年	2023(R5)年	2024(R6)年	
「RAC川の安全教室in仁淀川」の実施による指導者育成 川の特性を理解し、川での活動における危機管理能力を身につけた人材を育成する。 ※ リーダー資格取得に必要な講座:アシスタントリーダー講座、リーダー講座、川という自然の理解講座、川と人、社会、文化の関わり講座	アシスタントリーダー講座:1回、リーダー講座:1回、川という自然の理解講座:1回、川と人、社会、文化の関わり講座:1回 リーダー:6名	計画 リーダー講座(1回)、川という自然の理解講座(1回)、川と人、社会、文化の関わり講座(1回)	アシスタントリーダー講座(1回)、川という自然の理解講座(1回)、川と人、社会、文化の関わり講座(1回)	インストラクター養成講座(1回)、川と人、社会、文化の関わり講座(1回)	インストラクター養成講座(1回)、川と人、社会、文化の関わり講座(1回)	アシスタントリーダー講座(1回)、リーダー講座(1回)、川という自然の理解講座(1回)、川と人、社会、文化の関わり講座(1回)	アシスタントリーダー講座:2回、リーダー講座:2回、川という自然の理解講座:3回、川と人、社会、文化の関わり講座:5回 インストラクター:2名、リーダー:9名
		実績 指導者養成講座:1回 川という自然の理解講座:1回 川と人、社会、文化の関わり講座:1回 リーダー数:3名					

1 「RAC川の安全教室in仁淀川」の実施による指導者育成

(1) アシスタントリーダー講座

開催時期:7月15日(木)※小雨決行(荒天延期) 予備日:7月29日(木)

開催場所:いの町波川(実技)、いの町役場1階いのホール(座学)

講師:谷 光承(RACトレーナー)

※ 講師補助としてRACリーダーが参加予定

(2) 川という自然の理解講座

開催時期:9月※小雨決行(荒天中止)

開催場所:いの町(八田)

講師:石川 妙子(水生昆虫研究家)

園山 幹雄(仁淀川の“緑と清流”を再生する会)

開催内容:石川氏によるガサガサ教室・園山氏による見釣り(予定)

(3) 川と人、社会、文化の関わり講座

開催時期:令和4年1、2月

開催場所:いの町吾北

開催内容:楮について

テーマ	子どもたちを川へ呼び戻す	目的	川の特性を理解し、川での活動における危機管理能力を身につけた人材の育成及び育成した人材の指導による子どもを対象とした安全教室、環境学習等が実施できる体制を整える。また、危険箇所マップ等の情報発信により、川での事故防止につなげる。
取組項目	安全・安心で楽しい水辺活動の推進		

取組内容	これまでの実績 (2015(H27)～2018(H30))		計画スケジュール					目標 (2024(R6))
			2020(R2)年	2021(R3)年	2022(R4)年	2023(R5)年	2024(R6)年	
2 指導者間の連携への支援 Facebookグループを活用し、育成した指導者間の情報交換が促進できるよう支援する。	Facebookグループの立ち上げ及び運用	計画	指導者間の情報交換への支援					-
		実績	Facebookグループの運用					
3 子ども水辺安全講座の実施 川の楽しさを体験するとともに、川のどこが危険なのかを知り、自分の身を守る知識や方法を体験を通じて学習することを目的とした座学、実技を実施する。	実施校数: 1校 受講した子どもの数: 22名	計画	1校	1校	1校	2校	2校	実施校数: 7校 受講者数: 140名
		実績	2校(開催支援: 1校、RACリーダーによる実施: 1校)					
4 仁淀川流域向け入門編の実施 川での安全対策の必要性や危険なポイント、事前準備など川の安全に関する基礎知識を学べる入門編(座学)を作成、実施する。	新規	計画	案作成及びモニタリングの実施	講座の実施(2回)	講座の実施(2回)	講座の実施(4回)	講座の実施(4回)	実施回数: 12回
		実績	案作成 モニタリング: 0回					
5 危険箇所マップによる情報提供 仁淀川の危険箇所の表示(サイン)や危険箇所マップ等作成・配布といった情報発信を行い、仁淀川での事故防止につなげる。	仁淀川危険箇所マップ(HP)の公開及びミニマップの配布	計画	危険箇所マップ等の情報発信					-
		実績						

3 子ども水辺安全講座の実施

- ・黒岩小学校

6月4日「川と人の共生について」の座学を実施予定。講師は石川妙子氏。

7月14日で水辺安全講座を実施予定。講師及びスタッフについてはRACリーダーと調整中。

4 仁淀川流域向け入門編の実施

- ・モニタリング: 連絡待ち

テーマ	子どもたちを川へ呼び戻す	目的	流域内の学校での環境学習や川に親しむ機会づくりへの支援を行い、学校での取組を増やすことによって、子どもたちの川への関心を高める。
取組項目	学校での環境学習や川に親しむ機会づくりへの支援		

取組内容	これまでの実績 (2015(H27)～2018(H30))	計画スケジュール					目標 (2024(R6))
		2020(R2)年	2021(R3)年	2022(R4)年	2023(R5)年	2024(R6)年	
1 学校での環境学習実施への支援 仁淀川について学べる講座及び講師の情報収集を行い、「調べ学習ハンドブック」を作成し、流域の学校へ提供するとともに実施への支援を行う。また、環境学習実施結果の情報発信を行うことによって、流域全体での実施につなげる。	実施校数 水生生物調査：11校(H30) 水質調査：5校(H30)	計画 講座及び講師の情報収集 「調べ学習ハンドブック」の作成 学校への提供 講座実施への支援(既存の取組継続を含む)及び情報発信					実施校数 水生生物調査：21校(R6) 水質調査：21校(R6)
		実績 水生生物調査：7校 水質調査：7校					
2 水質マップによる情報発信 仁淀川流域で実施している水質調査結果を収集して地図化し、実施者や学校に提供を行うとともに情報発信を行う。	新規	計画 水質調査実施状況の把握及び地図化に向けた検討 データ収集、地図化及び情報発信					水質調査実施校数：21校(R6)
		実績 水質調査：7校					


1 学校での環境学習実施への支援

- ・ 協議会関係者での講師及び講義内容の情報収集
- ・ 調べ学習ハンドブック(シート)の作成
- ・ 配布

2 水質マップによる情報発信

- ・ 学校等への調査の実施

テーマ	水文化を継承する	目的	水を上手に使ってきた先人の知恵や流域固有の特徴ある水文化を流域全体で共有しながら次世代へ引き継ぎ伝えていくことを目的として、水文化に親しむ機会の拡大を図る。
取組項目	流域の水文化に親しむ機会の拡大		

取組内容	これまでの実績 (2015(H27)～2018(H30))		計画スケジュール					目標 (2024(R6))
			2020(R2)年	2021(R3)年	2022(R4)年	2023(R5)年	2024(R6)年	
1 流域の水文化に親しむ機会の情報発信 仁淀川にふれ合う行事を実施するとともに、参加しやすくなるよう情報発信を行う。	継続	計画	行事の実施及びホームページFacebook等を活用した情報発信 					-
		実績	Facebook 投稿回数13回					
2 「仁淀川学習」プログラムの開発及び実施(再掲) 水生生物や水文化、ごみ問題など、さまざまな分野に関するプログラムを新たに作成し実施することによって、仁淀川について学べる機会づくりにつなげる。	新規	計画	検討及び実施 (2回)	検討及び実施 (2回)	検討及び実施 (2回)	検討及び実施 (2回)	検討及び実施 (2回)	プログラム数:10個(うち水文化の継承:5個) 実施回数:10回(うち水文化の継承:5個)
		実績	プログラム数:2個 実施:2回					

1 流域の水文化に親しむ機会の情報発信

- ・ 行事の実施及びホームページ・Facebook等を活用した情報発信の実施

2 「仁淀川学習」プログラムの開発及び実施(再掲)

- ・ 水文化(川と人、社会、文化の関わり講座) 、水質保全

テーマ	水文化を継承する	目的	水を上手に使ってきた先人の知恵や流域固有の特徴ある水文化を流域全体で共有しながら次世代へ引き継ぎ伝えていくことができるように、仁淀川にまつわる伝承等の収集及び活用に取り組む。
取組項目	仁淀川にまつわる伝承等の収集及び活用		

取組内容	これまでの実績 (2015(H27)～2018(H30))		計画スケジュール					目標 (2024(R6))
			2020(R2)年	2021(R3)年	2022(R4)年	2023(R5)年	2024(R6)年	
1 「仁淀川学習」プログラム開発及び実施(再掲) 水生生物や水文化、ごみ問題など、さまざまな分野に関するプログラムを新たに作成し実施することによって、仁淀川について学べる機会づくりにつなげる。	新規	計画	検討及び実施 (2回)	検討及び実施 (2回)	検討及び実施 (2回)	検討及び実施 (2回)	検討及び実施 (2回)	プログラム数:10個(うち水文化の継承:5個) 実施回数:10回(うち水文化の継承:5個)
		実績	プログラム数:2個 実施:2回					

1 「仁淀川学習」プログラムの開発及び実施(再掲)

- ・水文化(川と人、社会、文化の関わり講座)、水質保全

テーマ	川本来の生態系を取り戻す	目的	流域での水生生物や水生植物の生息調査の実施により、仁淀川流域の生物多様性について考えるきっかけづくりにつなげる。
取組項目	自然環境調査の実施		

取組内容	これまでの実績 (2015(H27)～2018(H30))		計画スケジュール					目標 (2024(R6))
			2020(R2)年	2021(R3)年	2022(R4)年	2023(R5)年	2024(R6)年	
1 自然環境調査の実施 河川やその周辺に生息・生育する生物の現状を把握するために自然環境調査を実施し、必要に応じて保護・保全を行う。	継続	計画	既存調査内容の把握及び実施に向けた検討		調査実施			調査実施回数：2回
		実績	カジカガエル鳴き声調査の検討					

1 自然環境調査の実施

- ・ カジカガエルの鳴き声が聞こえた場所を地図に入れ、仁淀川のきれいさの「見える化」を図る。

調査の周知方法：ホームページ等、SNSでの情報発信、仁淀川流域の小中学校及び関係者、関係各所へのチラシ配布。

事業の具体的な実施計画について（美しい景観を保全する）

テーマ	美しい景観を保全する	目的	流域全体での一斉清掃等の実施により清流保全活動に参加する機会づくりにつなげるとともに、仁淀川の現状について考えるきっかけづくりにつなげる。
取組項目	「仁淀川・環境の日」の啓発・一斉清掃への参加呼びかけ		

取組内容	これまでの実績 (2015(H27)～2018(H30))	計画スケジュール					目標 (2024(R6))
		2020(R2)年	2021(R3)年	2022(R4)年	2023(R5)年	2024(R6)年	
1 仁淀川一斉清掃の実施 「仁淀川・環境の日」(10月24日)の前後の土曜日に、住民や環境先進企業、関係団体等が協働で一斉清掃を実施する。	4回(年1回実施) のべ参加者数:1,515人	計画	一斉清掃の実施(年1回)				のべ参加者数:2,000人
		実績	10/24 参加者数:256人				
2 「清掃活動+α」の検討及び実施 ごみ拾いに楽しさや学びをプラスすることによって参加を促すとともに、仁淀川の環境保全への関心を高める。	新規	計画	検討及び実施 (2回)	検討及び実施 (2回)	検討及び実施 (2回)	検討及び実施 (2回)	のべ参加者数:200人 環境への関心が高まったと回答した割合(アンケート調査):80%以上
		実績	0回				

1 仁淀川一斉清掃の実施

- ・実施日及び場所：部会で協議

2 「清掃活動+α」の検討及び実施

- ・ごみ勉強会（㈱サンプラザ 協働の川づくり事業寄付金を活用、新居小学校と連携）

時期：令和3年5月28日（金）予備日：5/31、6/4

場所 座学：土佐市立新居小学校（土佐市新居1189-1） 実技：仁淀川河口大橋周辺を予定

テーマ	美しい景観を保全する	目的	仁淀川のごみの状況について正しく把握するとともに河川利用者のマナー向上につなげる。
取組項目	河川利用者のマナー向上に向けた取組の実施		

取組内容	これまでの実績 (2015(H27)～2018(H30))	計画スケジュール					目標 (2024(R6))
		2020(R2)年	2021(R3)年	2022(R4)年	2023(R5)年	2024(R6)年	
1 事業者との連携による啓発の実施 河川利用者との接点を持つ事業者※と連携した、河川利用者に対する啓発を実施することによってマナー向上につなげる。 ※例: 観光客＝観光事業者	新規	計画	事業者との協議 → 啓発案作成	連携した啓発の実施			-
		実績	観光事業者との協議: 1回				
2 河川ごみマップ等による情報発信 仁淀川流域で回収されたごみの種類や量を地図化し、上流から下流への変化や本川と支川の違いを見える化する。また、不法投棄されたごみの量や種類、場所などの情報を収集するための仕組みづくりを行う。	新規	計画	清掃活動実施状況の把握及び地図化に向けた検討 →	データ収集、地図化及び情報発信			ごみマップによる情報発信回数: 1回
		実績	清掃活動実施状況の把握(おもてなしの水辺創成事業)方法協議				

1 事業者との連携による啓発の実施

- ・観光事業者との連携

令和2年度第2回中流域部会で協議。仁淀ブルー観光協議会と連携した発信を実施することとなった。

まずはSNSを活用した情報発信の内容案について、WGで検討。

2 河川ごみマップ等による情報発信

- ・ごみの量、種類、場所についての情報収集の実施

テーマ	美しい景観を保全する	目的	愛媛県も含めた上流と下流とがつながっていることを意識できる機会を提供することによって、流域全体で連携した清流保全活動の推進につなげる。
取組項目	上下流の連携		

取組内容	これまでの実績 (2015(H27)~2018(H30))		計画スケジュール					目標 (2024(R6))
			2020(R2)年	2021(R3)年	2022(R4)年	2023(R5)年	2024(R6)年	
1 「仁淀川学習」プログラムの開発及び実施(再掲) 仁淀川をテーマにしたプログラムを作成し、楽しみながら学べる機会づくりにつなげる。	新規	計画	検討及び実施 (1回)	検討及び実施 (1回)	検討及び実施 (1回)	検討及び実施 (1回)	検討及び実施 (1回)	プログラム数:5個 実施回数:5回
		実績	プログラム数:2個 実施:2回					
2 水質マップによる情報発信(再掲) 仁淀川流域で実施している水質調査結果を収集して地図化し、実施者や学校に提供を行うとともに情報発信を行う。	新規	計画	水質調査実施状況の把握及び地図化に向けた検討 →		データ収集、地図化及び情報発信 →			水質調査実施校数:21校
		実績	水質調査:7校					
3 河川ごみマップ等による情報発信(再掲) 仁淀川流域で回収されたごみの種類や量を地図化し、上流から下流への変化や本川と支川の違いが見える化する。また、不法投棄されたごみの量や種類、場所などの情報を収集するための仕組みづくりを行う。	新規	計画	清掃活動実施状況の把握及び地図化に向けた検討 →		データ収集、地図化及び情報発信 →			ごみマップによる情報発信回数:1回
		実績	清掃活動実施状況の把握(おもてなしの水辺創成事業)方法協議					

1 「仁淀川学習」プログラムの開発及び実施(再掲)

- ・水文化(川と人、社会、文化の関わり講座)、水質保全


2 水質マップによる情報発信(再掲)

- ・学校等への調査の実施

3 河川ごみマップ等による情報発信(再掲)

- ・ごみの量、種類、場所についての情報収集の実施

テーマ	美しい景観を保全する	目的	流域の団体や企業等と連携した水辺の環境保全活動を実施することによって仁淀川の景観を保全する。
取組項目	環境先進企業、関係団体との協働による仁淀川における水辺の環境保全活動の普及促進		

取組内容	これまでの実績 (2015(H27)～2018(H30))	計画スケジュール					目標 (2024(R6))	
		2020(R2)年	2021(R3)年	2022(R4)年	2023(R5)年	2024(R6)年		
1 「協働の川づくりパートナーズ協定」による取組 川の環境保全活動に関心のある企業と清流保全活動に取り組んでいるNPO等、流域市町村、県と「協働の川づくりパートナーズ協定」を締結し、一斉清掃や間伐、子どもたちを対象とした環境学習などの取組を協働で推進する。	仁淀川を対象とした協定締結数:2	計画	環境先進企業への提案の実施及び協定を締結した企業の参画による環境保全活動の推進 					仁淀川を対象とした協定締結数:3
		実績	協定締結数:3 新規:1 継続:2					

1 「協働の川づくりパートナーズ協定」による取組

- ・新規：株式会社サンプラザ
- ・継続：アサヒビール株式会社、有限会社高知アイス

テーマ	排水・汚水処理対策を進める	目的	家庭で出来る具体的な生活排水対策の広報や、地域における環境保全対策について学べるプログラムの開発及び実施により、河川環境について考えるきっかけづくりにつなげる。
取組項目	地域における環境保全対策		

取組内容	これまでの実績 (2015(H27)～2018(H30))		計画スケジュール					目標 (2024(R6))
			2020(R2)年	2021(R3)年	2022(R4)年	2023(R5)年	2024(R6)年	
1 家庭での環境保全対策についての情報発信 生活排水対策に自主的に取り組む環境づくりのため、家庭でできる具体的な取組方法等の広報を実施する。	継続	計画	家庭での環境保全対策についての情報発信 					—
		実績	現在確認中					
2 「仁淀川学習」プログラムの開発及び実施(再掲) 水生生物や水文化、ごみ問題など、さまざまな分野に関するプログラムを新たに作成し実施することによって、仁淀川について学べる機会づくりにつなげる。	新規	計画	検討及び実施 (2回)	検討及び実施 (2回)	検討及び実施 (2回)	検討及び実施 (2回)	検討及び実施 (2回)	プログラム数:10個(うち地域における環境保全対策:1個) 実施回数:10回(うち地域における環境保全対策:1個)
		実績	プログラム数:2個 実施:2回					

1 家庭での環境保全対策についての情報発信

- ・家庭でできる生活排水対策の広報を実施する

2 「仁淀川学習」プログラムの開発及び実施(再掲)

- ・水文化(川と人、社会、文化の関わり講座) 、水質保全